

お困りごと
相談ごとは

日本共産党石巻市議団へ

日本製紙に申し入れ 被災地の人員削減、やらないで!!



日本製紙 石巻工場 ホームページより

雇用維持へ 大企業としての社会的責任を

日本共産党石巻市議団三浦一敏団長は、石巻市に拠点工場がある日本製紙が正規社員・下請関連社員含めて千三百人の人員削減を打ち出したことに対して、震災で雇用が深刻な中で、日本製紙がこのような方針を出したことに危機感を強め、緊急の申し入れとなりました。同社へのこの問題での申し入れは、共産党石巻市議団がはじめてです。

申し入れでは、「水産加工会社や工業港背後地の関連企業も震災・大津波の打撃から立ち上がろうと全力で踏みとどまっている。貴社もこの国難のさなかにこそ、大企業としての社会的責任を発揮していただけることを強く期待する」と要望しています。

応対した中田和宏総務課長は、「内容は工場長に伝えます」としつつ、「紙の需要が最盛期に比べ20%ほど落ち込んだ。震災もさることながら需要の変化に対応しなければ日本製紙の存続にかかわる、石巻の工場の存続を一番に考えている」との説明でした。

党市議団は最後に、同社での新規採用がこの二年間無かったことに触れ、将来の発展へ新たな雇用を生み出して欲しいと要望しました。

ささぐく実現!! シャワー増設

日本共産党石巻市議団が、盆休み前に申し入れた石巻市独自の大衆浴場の新設・増設の要望で、ささぐく渡波小学校にシャワー設備が10機増設されました。簡易ですが毎日30℃を超える気温の中で、被災者もボランティアも一息つけそうです。入浴場の新設については、20日頃を目標にしているという話でした。



石巻民報

2011年 8/18号

発行 日本共産党東部地区委員会

石巻市南中里4-7-17

☎ 22-6335

FAX 22-6892

日本共産党の政策と見解を紹介しています。